キャラクター名: 冬賀　茜(トウガ アカネ)

プレイヤー名:

シンドローム	モルフェウス ブラックドッグ	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	17	性別	女
覚醒	渇望	衝動	自傷	初期侵食率	33 %
出自	待ち望まれた子	経験	親友	邂逅	玉野椿

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	3	1	0			4
感覚	3	0	0			3
精神	1	0	0			1
社会	1	0	0			1

HP	29
行動値	7
(非装備時)	7
戦闘移動	12
全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志	2		調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ｲﾝﾌｨﾆﾃｨｳｪﾎﾟﾝ	白兵	4r+2	3	lv+7		
100↓	白兵	7r+2	3	32		
100↑	白兵	8r+2	3	50		装甲無視

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
遺産:祈りの造花		8	-	-	ｲﾝﾌｨﾆﾃｨｳｪﾎﾟﾝlv5で取得,ジャーム化時死亡

合計装甲：	8	合計回避：	0

所持品	
コネ:UGN幹部	
思い出の一品	

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
祈りの造花	P　誠意	N　脅威		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	4	残り財産P：	1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
イオノクラフト	1	1	ﾏｲﾅｰ					
効果：	移動,浮遊							
インフィニティウェポン	5	3	ﾏｲﾅｰ				Dﾛｲｽ	
効果：	武器作成							
ｺﾝｾﾝﾄﾚｲﾄ:ﾓﾙﾌｪｳｽ	3	2	ﾒｼﾞｬｰ					
効果：	C値-lv							
咎人の剣	4	5	ﾒｼﾞｬｰ				ﾘﾐｯﾄ	
効果：	攻Lv*5							
アームズリンク	3	2	ﾒｼﾞｬｰ					
効果：	判定+LvD							
クリスタライズ	3	4	ﾒｼﾞｬｰ				100%	
効果：	攻lv*3,装甲無視							
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

■外見・性格
茶髪長髪ポニテ。細身モデル体型。目はキリッとしてクール系、女子からもてそうな感じ。でも可愛いものが好きでそういうものが似合えば良いなと思っている。性格はさばさばしてまっすぐ。事実覚醒前からずっと、他者から避けられていた逢沢瞳のそばに居続けている。

■生い立ち
普通の家庭の1人っ子。勉強も運動もできて人気があった。逢沢瞳と仲が良く昔から一緒に遊んでいた。彼女にはかなりの好意を持っている。しかしこの感情がどういったものか、いまだに自分の中でもふわっとしており友情くらいに思っている。幼少期に彼女が能力を暴発させたとき、冷たい視線を送るクラスメイトたちと彼女の間に立った唯一の友達。暴言を吐きながら詰め寄ってきた男子をどつきまわして、別の意味でその場を凍らせた。自身もそのときに怪我を負いしばらく学校を休んでいたときにずっと考えていた。このまま瞳は遠いところに行くのではないか、自分には彼女を支える力は無いのか、自分が変わることを強く望んだとき契約を持ちかける存在があった。瞳が能力を暴発させたのもコレのせいだったのだろうか、、、いや今となっては知る由もない。ただずっと前から自分を見ていたコレは開花を促した。それに少女は答えたまでのことだ。記憶処理のためにUGN職員が彼女の前にやってきた時、その必要はないと伝えながら、身の丈ほどの剣を職員らに向けてみせた。それからはUGNチルドレンとして活動を続け、現在も瞳と一緒にいることができている。あのとき契約し覚醒していなかったらと思うとゾッとする。たとえ絶望に立ち向かい続けることになるとしても。

■戦闘
手の中に作り出した砂の黒薔薇を解放すると、全身に雷の加護を纏い、身長ほどの刀身を持つ細い大剣を具現化する。宙を舞い、騎士の如く勇猛で敵陣へ斬り込んでいく。